

2016年5月実施 安全対策連絡協議会 開催報告

在オークランド総領事館

1 開催日時、対象者

- (1) 5月5日(木) オークランド日本人会
- (2) 5月11日(水) オークランド日本経済懇談会(二水会)
- (3) 5月14日(土) オークランド補習校
- (4) 5月24日(火) ハミルトン日本人会

2 主な議題

- (1) 総領事 挨拶
- (2) 伊勢志摩サミットに向けた注意喚起
- (3) テロの特徴と対処方法
- (4) NZにおけるテロ・一般安全事情
- (5) 意見交換

3 当方からの説明

- (1) 冒頭、横山総領事から次の通り述べました。

・昨今の国際情勢を見ると、従来以上にテロの脅威が高まっている。今年3月にベルギーのブリュッセルで発生したテロ事件はまだ記憶に新しいところ。また、海外において邦人がターゲットとなり、テロを含む様々な事件に遭い、巻き込まれる危険性も高まっている。当館としては、本協議会を情報共有・意見交換の場として積極的に活用していきたいと考えており、今後も定期的開催する考え。皆様におかれても情報共有を図り、適切な情報の伝達をお願いしたい。

・5月26、27日には日本で伊勢志摩サミットが開催される。当館としては5月中旬から2週間(16日～29日)を特別警戒期間として総領事館の警備を強化する措置を取ることとしている。来館する方には不便が生じないように留意するので、ご理解と協力をお願いしたい。

- (2) 続いて当館から次の通り説明しました。

・NZで暮らしているとテロの危険性について実感がないかもしれないが、実際に日本人および権益もテロの対象となっており、NZにいるから安全とは言

い切れない。配布資料「テロの特徴と対処方法」を読んでいただき、テロから身を守る知識を身につけてほしい。

- ・NZ以外の国へ出張・旅行する際はたびレジに登録をお願いしたい。
- ・3月の当地紙報道ぶりにあるように、NZでは空き巣被害が多く、残念ながら検挙率は全国で9.3%、オークランドでは7.2%と低くなっている（日本の検挙率は8割以上）。一戸建ての場合、空き巣を100%防ぐことは不可能なので、鍵の管理に注意を払ったり、防犯カメラの設置、窓のセンサー、ガラス飛散防止装置を活用して「入られない」工夫をすることが重要。
- ・誘拐も多発している。子どもには日本の標語「いかのおすし（イカない、ノらない、オお声を出す、スグ逃げる、シらせる）」を是非覚えておいてほしい。
- ・銃器使用犯罪、強盗、性犯罪も増えている。夜道を歩く際、携帯電話に「111」を表示させ、何かあったらすぐに発信できるよう準備するなど、心がけたい。
- ・爆弾被害にあった際心がけることは「まず伏せる」ことだが、頭を守るため爆弾に足を向けること、また爆風の圧力から眼球や鼓膜を守るため口を少し開けること、などを覚えていただきたい。
- ・最近爆弾予告電話事案が相次いだ。録音の証拠が大事なので、家庭や会社の電話録音機能をチェックいただきたい。

4 出席者からのコメント

<オークランド日本人会 5月5日>

(1) NZには「Neighborhood Support」という警察と連携して犯罪を減らし、安全を確保するために活動しているNPOがある。同組織はボランティア・グループによる見回り活動も行っており、日本人会の活動との連携を模索していくことも有益だと考える。

(2) 総領事館ホームページの安全・生活情報はとても参考になる。オークランド警察のエスニック関係部門の委員をしており、近く講話をすることになっているが、本日の情報も背景知識として講話の際の参考にしたい。

(3) 当地でレストランを経営しているが、防犯対策の意識を向上させるのにいいきっかけとなった。社員と共有したい。

(4) NZでは警察官は人気の高い職業である。日本人でも永住権を持っていれば警察官になることができ、NZ全体で4名、オークランドには2名の日本人警察官がいると聞いている。

<オークランド日本経済懇談会（二水会） 5月11日>

(1) オークランド南部は治安が悪いと言われており、その地域に住んでいる

人や訪れる人は警戒を怠らない必要がある。

(2) 3月、自分(発言者)の息子が通う現地校に対し爆破予告電話があった。警察が出動し、生徒は学校から一歩も出られない状況の中、大変心配したが、予告電話から30分後、同校のフェイスブックで情報がアップされ、状況把握が可能となるとともに息子の無事を確認しホッとしたものである。オークランド補習校ではこうしたシステムが整っていないようであるから、整備が必要。

(3) 別の学校では、学校近辺に銃を持った男がうろついていたため、学校は生徒を敷地外に出ないよう措置した。この際学校から保護者に対し、携帯電話のショートメッセージによるこまめな情報提供があり、保護者としては安心したものである。

(4) 銃犯罪が増えていると聞くが現状如何(当館から、過去5年で銃の押収量が1.5倍となったこと。銃所持は法律によって禁止されているが、簡単な研修を受ければ狩猟目的の銃所持が認められる旨回答)。

(5) 本社からの出向者が短期間で入れ替わることから、こうした協議会を定期的に開催願いたい。

<オークランド補習校 5月14日>

(1) オークランドは泥棒被害が多いが、実際自分(出席者の一人)も空き巣に入られた。その際警察から「泥棒に時間をかけさせること、物を取らせないこと、あきらめさせること」が大事であるとアドバイスを受け、長期間留守にする際は、家の中のドアをすべてロックする、テレビに枠を取り付け部屋のドアから外に運び出せないようにするなどの対策を取っている。

(2) 報道を見ると、近所に住む者が泥棒というケースもある。泥棒は、郵便受けがいっぱいになっていないか、長期間カーテンが閉まったままではないか、観察しているので十分気をつけたい。

(3) スーパーマーケットの駐車場で突然車のドアを開けられ、足下に置いていたバッグを盗まれたことがある。犯人は仲間が待機する車に飛び乗って逃走した。こうした犯行を防ぐためにも車に乗る際はドアロックを忘れてはならない。また、犯人達の車は逃げるのに必死で周りを確認せず急発進しており、歩行する際はこうしたことも頭に入れておく必要がある。

(4) 信号待ちの交差点で頼みもしないのにフロントガラスを清掃してチップを要求する人たちがいるが、あからさまに断ることで彼らを刺激するのが怖い。ワイパーを動かしてやんわりと断るなど、上手に避ける方法を身につけたい。

(5) 本日伺った話の多くは初耳であり、今後防犯意識を高める上で有益であった。また、テロの話は決して他人事ではないことがわかり大変有意義であった。

<ハミルトン日本人会 5月24日>

(1) 昨年後半、ハミルトン市内であったテロ騒ぎに遭遇した。銀行内で不審物が発見され、銀行の建物および付近の道路が封鎖され、警察による調査が行われた。結局この不審物は忘れ物だったことが判明したが、テロを身近に感じた事件だった。

(2) ハミルトンでも空き巣が非常に多い。自分(出席者)を含め、本日出席している2名が被害にあっている。警察からは、近所間での声かけをはじめ、パソコン・スマートフォン等の電化製品のシリアル番号をウェブサイト(snap.org)で登録し、犯人による盗難品の転売を未然に防ぐべき、などのアドバイスを受けた。

(3) クリスマスに近所数軒とともに空き巣被害にあった。警察に連絡してもすぐに来てくれず、警察の対応に疑問を感じた。玄関が植物に隠れて外から見えないのが理由だったと感じ、その後植物を除去し見通しを良くするとともに、外出時には不在を悟られないよう室内灯やラジオをつけるようにしている。

(4) 強盗も多いので空き巣被害であればまだいい方だという認識を有しがちだが、今回伺った話を元に、防犯意識を高めたい。

(5) 勤務しているレストランでは現金が入ったチップ(心付け)箱の盗難が相次いでいる。他のお店では、タバコ狙いの万引きが多いようだ。いずれも十代の若者達の犯行であり、十分注意したい。

以上